



Wakakei2008 若き経営者の会

WEBニュース会報

<http://www.wakakei.com/>

総務部長 あいさつ
総務部 部長 市橋義昭

18年度総務部副部長、19年度総務部長と2年間総務を勤めさせて頂きました。この2年間は会の運営をつつがなく行う事を第一に勤めてきたつもりですが、至らない事も多々あり、皆様にはご迷惑をお掛けしました。

2年間を通して多くを学ばせて頂きましたが、最も大切なのは感謝する心だと分かりました。みなさまに「ありがとう」という心で例会を運営すれば気持ち伝わる、という事でした。

その「感謝」という言葉をスローガンに掲げた岡崎会長が、毎回誰よりも早く会場に来て、みんなを迎えていた姿にも学ばせて頂きました。

改めて、どうもありがとうございました。

教育部長を1年間して
教育部 部長 木田 英二

若経に入会してから初めての部長をして、例会運営がどのようにして出来るのか、しみじみ大変さがわかりました。担当副会長、副部長、部員の手助けが有り一年間の部長がつとまりました。

一分間スピーチという新しい企画を取り入れて、仕事以外の話しをしてもらい違う一面の会員の話が聞けたと思いました。

今年の教育部の例会は、5月は食と健康、6月は一泊研修で長府での歴史の勉強、7月は福祉・介護制度、8月は年金、特に7・8月は、時期的に話題となっていた問題についてお話しして頂きました。

また、9月はカラーコーディネート、10月は新エネルギー水素、2月は餅つき、3月は周年事業、と1年間の例会事業を行ないました。

今年の例会は皆さんどうでしたか？来年の教育部に新しい企画、一味違った例会を期待しています。

一年間、教育部員の皆さんお疲れ様でした。

企画部長 あいさつ
企画部 部長 中川繁巳

平成19年度の企画部長中川です。この1年、自身の努力や集中力が欠如し、企画部だけでなく、会全体にもご迷惑をお掛けする事が多くありました。お詫びすることは枚挙に暇が無く、恥ずかしいばかりです。こんな私ですが、頼り甲斐のある先輩がたに見守られながらですが、1年間若経の一翼を担うべく活動をする事が出来ました。

例年催している献血・骨髄バンクドナー登録会や国際交流事業などに加え、19年度は宇部商工会議所青年部、宇部青年会議所、楠商工会議所青年部の4団体合同で事業を行いました。

様々な事業を企画し開催する中で感じた事は、(当たり前のことですが)ひとりでは何もできないという事です。部内の連携、会員・OB会員との連携、他団体との協力・・・、その他いろんな人達と関わり合う。この1年人並みには部長の職責を果たせず、先の当然の事を改めて勉強する事となりました。

かつて先輩会員の方に、「なぜ若経にいるのか」と尋ねられた事がありました。自問しても答えのない私でしたが、そういう疑問すら持ち合わせていませんでした。入会から2年あまり漫然と過ごしていましたが、この1年でようやく、なぜと考えられるようになりました。「勉強する」スタートラインにようやく立った気分です。

文化部長 あいさつ
文化部 部長 猪熊修太郎

今年度は文化部の部長を任され自分に出来るか不安でしたが、渡壁副部長と部員さんに助けられ全うする事が出来ました。そして、何よりも会員・会員家族のご協力があればこそで、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



10月例会(10月15日)
教育部 岩本貴志

10月例会は、「新エネルギーとしての水素、その役割と課題」と称し、講師に山口大学教授 今村速夫氏をお招きしてご講演して頂きました。新エネルギーとしての水素、と演目にありましたが、現時点ではまだ保持、保存、流通などが危険で高コストという事が分かりました。

水素を燃料とする自動車もドイツや日本で既に実用化されていて、近い将来高圧水素がもっと身近な存在になると思います。

個人的には、高圧水素が危険というイメージが以前から在るのでそれを払拭するには、もう少し早く時間がかかると思います。



四団体合同事業(10月20日、11月7日)
企画部 部長 中川繁巳

平成19年10月20日、宇部市西部体育館にて、若き経営者の会、宇部商工会議所青年部、宇部青年会議所、楠商工会議所青年部からなる4団体合同で、バレーボール大会と大懇親会を開催しました。

バレーボール大会では、4団体各会員を混成8チームに割り振り、親睦を図りました。各チーム初対面ばかりのチームメイトと協力をしながら、日ごろ使わない筋肉を痛めながら、優勝を目指し、最下位を免れるよう白球を追いました。その後、国際ホテル宇部にて大懇親会では、協力し合ったチームメイトと交流、ビジネスにつながる懇談をする事ができました。バレーボールで残念ながら最下位となった某チームは、この懇親会の目玉とも言える「罰ゲーム・女装」で宴席に花を添えてくれました。

そして11月7日、宇部市文化会館研修ホールにて、吉田猫次郎氏の講演が開催されました。平岡監査が一度赴き感銘を受けた講演を宇部市でも、という事で、この4団体合同事業で開催する事になりました。

吉田氏は日ごろコンサルティングや講演活動などでも忙しくされている中、平岡監査のご尽力もあり、破格の講演料で講演を引き受けて下さいました。これまで若経では、経営に役立つ内容を主に講師例会などが開催されてきましたが、一方で今回はネガティブな「借金はいかえすな」という演題でした。同氏は講演で、「自社の負債から非合法的な金融で借金をし、自殺を試みる」ところから始まり、最後には「希望がある限りは、不貞腐れずに努力する」事で、経営や人生をも広い視野で見、モチベーションを上げる事を教えて下さいました。

各団体役員、三団体連絡協議会担当者の皆さまに心より御礼申し上げます。



11月例会「男の料理教室」(11月14日)
文化部 瀧口堅太

11月14日に講師に秋村芳子先生をお招きして、男の料理教室(家族に捧げる家庭料理)を開催しました。

献立はハンバーグステーキ、人参グラッセ、シンプルポテトサラダ、キャラメルプリンで、これだけのものを短時間で料理するのは難しいので、下ごしらえを秋村先生と助手の方にして頂きました。

いざ始めると僕の想像していた以上に、みなさん楽しそうに夢中になっている姿に驚きました。料理を作っている中で改めてこの会にはいろんな性格、タイプの人がいるのだと再確認し、見ていて面白かったです。

後は無事にケガもなく作り終わり、みなさんとおしく頂きました。特にシンプルサラダはみなさん好評で、ぜひ家で作ってみたいとの事でした。今回の担当例会は出席率も良く、猪熊部長のもと大成功だったと思います。強いて言うなら、たまねぎが駄目な木田さんに、大変苦しい思いをさせてしまった事です、ごめんなさい。